

令和5年 4月 4日



令和5年度 学校経営方針



60周年キャラクター
いしわらっこ

調布市立石原小学校
校長 飯島 慶裕

1 目指す学校像

☆ 子供たちの笑顔あふれる学校(これに勝るものはない)

(1) お互いを尊重し合いながら学ぶ学校

教師と子供、教師と保護者、保護者と子供だけでなく、教師同士、子供同士、保護者同士が相手を尊重し、認め合う中でこそ、子供は心身共に健やかに成長することができます。子供一人一人のよさや可能性を見いだし、伸ばしていく教育活動を推進します。

→認められる笑顔

(2) 教職員にとって、自信と誇りをもってやりがいの感じられる学校

失敗を恐れず、次のステップへつなげていくことを重視します。教師のやる気は、子供たちの学習への原動力となります。教職員一人一人が、創意工夫しながら新しいことにチャレンジしていく教育活動を推進します。

→やる気のある笑顔

(3) 保護者や地域とともに歩む学校

子供は、学校・保護者・地域の三者で育ててこそ、健やかに成長することができます。家庭や地域等と連携し、協力し合いながら地域に根差した教育活動を推進します。大人になっても、学んだことを誇れる石原小学校であり続けたい。

→誇れる笑顔

2 本校の教育目標

◎ 根気よく学ぶ子 (今年度の重点)

- ・ 主体的に学ぶ意欲をもち、自らを高めようと創意工夫する。(問題解決力, 判断力)

○ なかよく助け合う子

- ・ 自分と他者の生命や個性を尊重し、言語や人種、障害の有無等の多様な違いを受け入れ、共生社会の一員として参画する。(コミュニケーション力)

○ 明るく元気な子

- ・ 心身を鍛え、多様な経験を積み重ねながら前向きに生活する。(体力向上, 学習意欲)

3 経営の方針

子供のために学校はあります。一人一人の健やかな成長を目指し、確かな学力を付け、夢と希望をもって心豊かに生きていく子供を育てたいと考えます。そのためには、学校・保護者・地域が一体となって教育活動を進めることが重要です。そこで、以下のことを重視します。

(1) 学力の向上を重視

- ・ 確かな学力を定着させる。
→ 基礎的学力…読む 書く 計算する等
基本的学力…思考力 判断力 表現力

↓

相互の関連付け・深化

- ・ 子供たち主体的対話的で深い学びを導き出す。
→ できた。分からなかった，でも楽しかった。(試行錯誤しながら学ぶ楽しさ)
- ・ めあてを明示し，いつでも学習の振り返りができる。
→ 見通しをもって学習
- ・ 思考力・判断力・表現力の向上のために，指導法の工夫改善を行う。
→ 児童用タブレットの活用等

↓

**子供たちが楽しく学習している姿⇒保護者の安心・信頼につながる。
※週案を作成し，計画的に教育活動を行う。(学習内容，ねらい，安全配慮等)**

(2) 人権尊重教育を重視

- ・ 互いに相手を思いやるとともに，自分自身を大切にする。
→ いじめの防止 自他の生命の尊重 善悪の判断
- ・ 安心して間違えることができる。
→ 失敗しても笑わない。失敗したら笑われると思うと，自分の考えが言えなくなる。
- ・ 教員一人一人が人権意識を高め，子供の人権を尊重する。
→ 体罰・不適切な指導の防止 児童を不適切な言い方(あだ名等)で呼ばない。
どうしたら解決につながるのか，アイデアを出し合う。

↓

子供にとって，学校が心の安全な場所になる。

(3) 安全教育の推進を重視

- ・ 交通事故防止，熱中症，防災意識(地震，風水害)，不審者対策
- ・ 休み時間の安全管理
→鉄棒での落下 ジャングルジムでの衝突等
- ・ 授業での事故防止
→体育でのけが防止(鉄棒，跳び箱，マット，走り高跳び等)
- ・ 食物アレルギー事故の防止
→ 指導管理表 毎日の献立の確認 近くにいる教員がまず対応

↓

**子供にとって，学校が安心・安全な場所になる。
※ 危険を察知する視点をもってください。**

(4) 教職員の創意・工夫を重視

- ・ これまで蓄積してきた伝統を大切にする。
- ・ 従前の考え方にとらわれず，創意・工夫された取組を行う。
- ・ 新しいことにチャレンジ でも独善は×

↓

先生のやる気(チャレンジ)は，子供のやる気につながる。

(5) 家庭・地域との連携を重視

- ・ P T Aとの連携
→役員会 実行委員会
- ・ 地域学校協働本部との連携(来年度, コミュニティスクールへ)
→ 地域学習 校外学習 ゲストティーチャー
- ・ 保護者との情報共有
→ 学校便り 学年だより 学級だより ホームページ 電話連絡 連絡帳
情報は生ものです。時間がたつと腐ってしまう。保護者への連絡・報告は、
できるだけ早く, できたら子供が帰る前に伝えるようにする。



保護者の学校に対する信頼感は, 子供の家庭における安心につながる。